

2025 年度 技術部活動報告書



琉球大学工学部 技術支援室活動報告書

巻 頭 言

工 学 部 技 術 支 援 室
技術支援室長 下里 哲弘

工学教育においては、学生が授業で習得した専門知識を実験的に確認する機会において、安全かつ安心できる実験環境を提供することが求められます。工学部技術支援室は、このような工学系の教育・研究活動を支援する重要な役割を担っています。

工学部技術支援室は、工学部の専門分野に応じて「設計製作班」「建設基盤班」「電気電子班」「情報班」の4つの班に分かれ、教育・研究・運営を支援しています。また、「技術支援部会」「広報部会」「安全衛生部会」「運営部会」「地域貢献部会」「事務部会」の6つの専門部会を設置し、出前講座などの社会貢献活動を含む活発な部会活動を展開しています。また、工学系の研究では、高度技術を活用して複雑な課題を解決すること、そして新しい技術の創成に関して継続的な挑戦が必要です。さらに、本支援室の特徴であるものづくりの楽しさを体験できる開放型の小規模工作室「ものラボ」の運営にも力を入れており、地域の次世代の人材育成活動にも尽力しています。「ものラボ」には、レーザーカッター、CNCフライス盤、3Dプリンター、3Dスキャナーなどの最先端の小型機器を設置し、自由にものづくりに取り組むことができますので、是非ともご活用ください。

本冊子は、2025年度における技術支援室の活動をまとめたものです。本報告をご覧いただき、皆様からのご意見やご指導等を賜りますようお願い申し上げます。工学部技術支援室は、今後も工学部の教育・研究・運営を力強く支援し、その発展に寄与するとともに、地域社会の発展にも貢献してまいります。引き続き、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「技術活動報告書」の発行にあたって

工 学 部 技 術 支 援 室
技 術 長 勢 理 客 勝 則

この度「琉球大学工学部技術支援室 2025 年度活動報告書」を発行いたしました。この報告書は工学部技術支援室（以下、技術支援室）の教育研究支援活動、学部支援活動、専門部会の活動、技術職員が主体となって開催する講習会や勉強会、公開講座、出前講座、出張報告、学会報告等の 1 年間の活動報告書であります。

技術支援室は、総合技術部から工学部に派遣された技術職員で構成されています。技術支援室では工学部の教育及び研究の現場を支えるとともにものづくり特化型ラーニングスペース「ものラボ」に力を入れています。ものラボの工作機械を用いて、琉球大学オープンキャンパスにて施設紹介や、工作機械の活用事例の紹介、デモ加工を実施しています。また、琉大ハカセ塾・カガク院への講義科目（レーザー加工機によるモノづくり体験）の提供、研究基盤統括センターと協力して 3D-CAD 講習会を実施する等学部外業務においても積極的に活動しています。人材育成においては、宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）先端技術工作グループに 2 年間出向していた職員が復職し、代わりに技術力向上を希望する若手職員が新たに同グループに 3 年間出向することになりました。JAXA は技術交流会・報告会を年 1 回開催しており、技術支援室からも 3 名が参加する等技術交流も活発に行われており、今後の連携を大いに期待しているところです。技術支援室は、今後とも技術職員のスキルアップと共に研究力の向上に貢献することを目標に精進してまいります。

技術支援室活動報告書について、お気づきの点やご意見等お寄せいただければ幸いです。

末櫃になりましたが、皆さまのより一層のご発展を心よりお祈りいたします。

2025 年度 技術支援室活動報告書

目 次

巻頭言

技術部活動報告書発刊にあたって

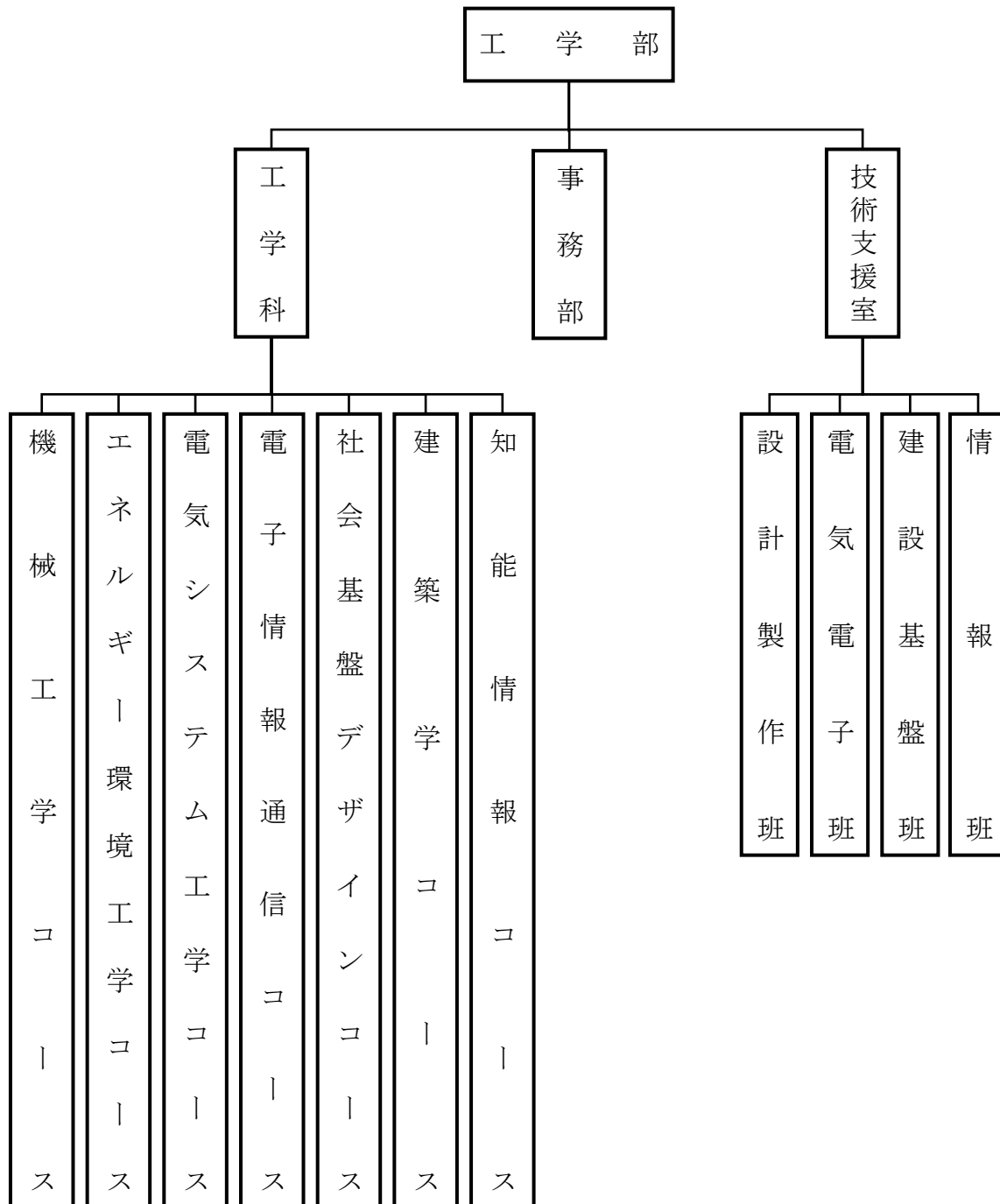
技術支援室長 下里 哲弘

技 術 長 勢理客 勝則

1.組織図	1
工学部組織図	2
技術支援室組織図	3
2.専門部会の活動	4
技術支援部会	5
安全衛生部会	5
広報部会	5
地域貢献部会	5
事務部会	5
運営部会	5
3.本年度の業績内容	6
設計製作班	7
電気電子班	9
建設基盤班	12
情報班	15
4.研究活動	17
論文投稿（筆頭・共著）	18
特許	18
学会および技術研究会での発表・受賞	18
関連プロジェクト等	19
5.地域貢献活動	20
6.外部資金および課金	32
7.研修	34
学内研修	35
工学部外研修	35
8.資格保有一覧	39
編集後記	41

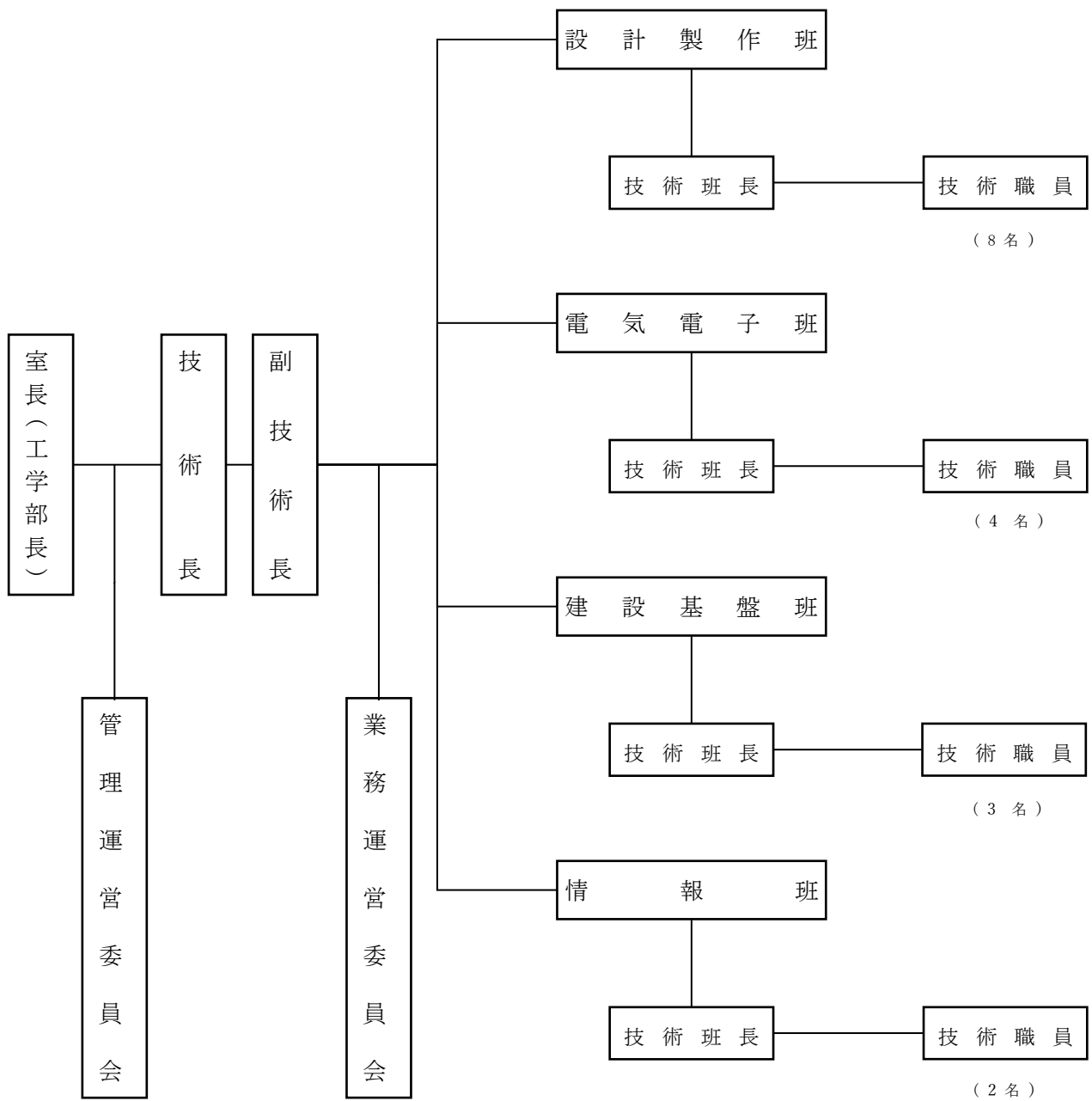
1. 組 織 図

琉球大学工学部組織図



工学部組織図

技術支援室組織図



技術支援室組織図

2. 専門部会の活動

・技術支援部会

技術支援部会は、学生や教職員に対する教育・研究の技術的な支援について企画・実施する部会であり、ものづくり特化型ラーニングスペース「ものラボ」の管理運営を行っている。工学部オープンキャンパスでは「ものラボ見学会」を企画し、施設紹介や活用事例の説明、工作の実演などを行なった。今年度は3Dプリンタ1台の全学共用化が完了しており、新規導入したレーザー彫刻機および3Dプリンタ2台についても共用化へ向けて検討している。

・安全衛生部会

安全衛生部会は、工学部各コースおよび工学部安全衛生委員会と連携し、学部内の安全衛生に係わる講習会などの企画・実施の案を作成する部会である。今年度は各コースの巡視担当者へ月初めにメールでの案内および工学部安全衛生委員会での技術支援室に関する議題の共有を行った。

・広報部会

広報部会は技術部の活動を広く大学内外に広報するために、Web ページや活動報告書などの広報活動に関する企画を行い業務運営委員会に提案する部会である。2025 年度は部会員 2 人の構成で活動を行った。今年度は昨年引き続き総合技術部立ち上げに伴った掲載内容の調整等を行った。

・地域貢献部会

地域貢献部会は、地域貢献活動を企画並びに実施支援する組織であり、2 名で構成される。2025 年度の活動として、2025 年度の公開講座「夏休み工作教室」8 講座、「第一種電気工事士試験対策講習（技能）」、「第二種電気工事士試験対策講習（技能）」の実施計画の取りまとめ及び開催支援を行った。また、2026 年度開催の公開講座「夏休み工作教室」7 講座の実施計画についても取りまとめを行った。

・事務部会

事務部会は技術部内での共用物品の購入や学部外業務等に係る予算管理、出張申請、その他工学部総務係との連携を図ることによる各種事務手続きを担当する部会である。2025 年度は部会員 2 名の構成で活動を行った。

・運営部会

運営部会は、工学部技術支援室の円滑な運営が図れるよう運営体制（人事、予算、年度計画、専門部会メンバー等）について検討し、業務運営委員会に提案する審議事項の事前調整や資料作成等を行う部会である。2025 年度は、予算関連の審議、専門部会の年度計画シートに対する助言、決算報告書および予算計画案、ラーニングコモンズの運用方針の検討や管理の提案、他大学との交流会および研修会の人選などを行った。

3. 本年度の業績内容

設計製作班

1. 業務内容

工学部工学科の機械工学コース及びエネルギー環境工学コースの実習・演習・実験等の教育支援、卒業論文、修士論文作成のための実験装置・実験試料の製作等の研究支援を行っている。また、工学部附属工作工場の利用者へ機械の取り扱い方法や安全作業の指導を実施している。さらに工学部の他コース、工学部以外からの技術相談や機器製作等にも対応している。

2. 業務実績

(1) 教育研究支援

① 授業科目

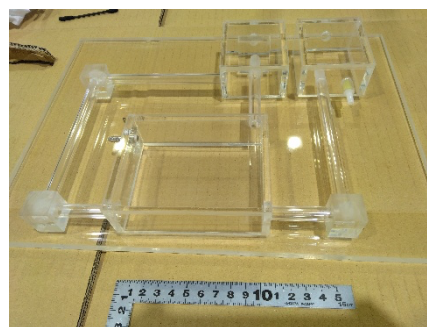
- ・工学基礎演習(機械工学コース1年次)
- ・機械製図(機械工学コース1年次)
- ・材料加工学実習(機械工学コース2年次)
- ・機械基礎演習(機械工学コース2年次)
- ・ものづくり基礎演習(エネルギー環境工学コース2年次)
- ・エンジニアリングデザイン演習(機械系3年次)
- ・機械工学実験Ⅰ、Ⅱ
- ・機械設計製図
- ・材料生産工学概論



材料加工学実習

② 実験装置、実験試料の製作

- ・展示用メタン発酵槽の製作
- ・研究室作り付け棚の製作
- ・水供給弁の角度確認用パネルの製作
- ・電気化学試験片の製作
- ・NFAD5 エンジン用インテークマニフォールド一体型プリチャンバと
延長シリンダの製作



展示用メタン発酵槽

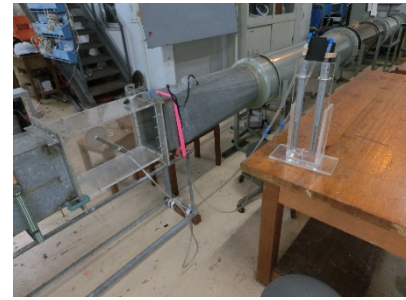
- ・海洋ロボットの実験装置の製作
- ・金属試験片の切断
- ・アクリル板切断
- ・NF 班プレチャンバ可視化用模擬燃焼室の作製
- ・金属試験片の切断, 切削加工
- ・小型旋回室付プレフィルミングノズルの製作
- ・アクリルボックスの製作
- ・コマ大戦参加学生のコマ製作
- ・暴露台の設計



延長シリンダ

③ 実験装置の整備・補修

- ・内燃機関総合性能試験装置のマフラー設置と
接続、始動試験
- ・万能試験機解体作業
- ・遠心送風機の分解、組み立て設置
- ・溶接装置の電源接続および実験装置の固定
- ・暴露架台の足の溶接
- ・放電プラズマ焼結装置の冷却システムの修理
- ・研磨機のスイッチ修理
- ・NFAD5 エンジン用インジェクションコントローラの修理
- ・放電プラズマ焼結装置の熱電対交換作業



遠心送風機の分解と組立て

(2) 工作工場の維持管理

- ① 工作機械故障時の修繕
- ② 測定器、工具の維持管理
- ③ 工場利用時の安全教育
- ④ 工作工場の改修工事に伴う移設物品の
梱包作業、廃棄機械・廃棄物品の搬出



工作工場 A 棟

(3) 工学部・コースの運営支援

- ① 入試業務(大学入試共通テスト、推薦入試、3 年次編入学試験、大学院入試)
- ② コース事務員不在時の対応
- ③ 安全巡視及び指摘事項の改善
- ④ 機械工学コース・エネルギー環境工学コース会議へ出席
- ⑤ 学会・講演会の支援
- ⑥ キャリア形成支援セミナーと就職説明会の支援

(4) 機械系以外からの製作依頼

- ① 金型の製作(社会基盤デザインコース)
- ② 試験体の製作(建築学コース)
- ③ アクリルのカット(社会基盤デザインコース)
- ④ シリンダー製作(理学部)
- ⑤ 真空配管の製作(理学部)
- ⑥ プラスチック製容器のカット(農学部)
- ⑦ 寄附者芳名札の製作(基金室)
- ⑧ マイクロプラスチック採取用プランクトンネットの金属枠製作(理学部)



シリンダー製作

電気電子班

1 教育支援

① 電気電子工学科および電気電子系コースの学生実験

電気電子工学科および電気電子系コースでは2年次後期から4年次前期までの4学期間に、電気・電子工学の基礎から専門までの幅広い分野の専門実験が行われている。今年度は、電気電子基礎実験(2年次後期)、電気電子応用実験(3年次前期)、電子・システム工学実験および電力工学実験(4年次前期)について、支援を行った。



電気電子基礎実験（磁気測定）

各実験の担当テーマ

a. 電気電子基礎実験

磁気測定、直流電動機の特徴、RLC回路、トランジスタの静特性

b. 電気電子応用実験

電気電子システム工学実験Ⅰ（昼間主）、電気電子システム工学実験（夜間主）

単相変圧器の三相結線、直流チョッパの基本回路と特性解析、デジタル基本回路、薄膜の電気抵抗率測定、アクティブフィルタ、CMOS論理回路

c. 電力工学実験（昼間主）

三相同期発電機の特徴、シンクロ電機（セルシン）とシンクロサーボ機構の特徴、低気圧中での放電、並列インバータの動作特性、シーケンス制御、絶縁材料の絶縁破壊試験

d. 電子・システム工学実験（昼間主）

マイクロ波

② 講義・演習

1 年次の講義「エンジニアリングデザイン基礎」において、実験室のセッティングを行い、電子回路やマイクロコンピュータボードを用いた演習を支援した。

③ 電気電子系コース工作室管理・運営

電気電子系コース工作室の管理・運営を行っている。工作室管理業務として、工作室利用者記録、安全巡視記録、備品・工具等の借用記録、燃焼器具等保安点検、工具類・消耗品等の購入を行っている。工作室は教職員および学生が利用することから、安全教育として、工作室利用者講習会を実施している。2025 年度の工作室利用者講習会は以下の日程で実施し 28 名が受講した。

開催日：2025 年 5 月 14 日（2 回）、5 月 21 日（2 回）、5 月 28 日（1 回） 各 3 時間

2 研究支援

教員の研究支援や教員、学部生、大学院生の研究用実験装置および部品等の製作ならびに工作指導、技術相談等を行った。また、棚や物の転倒、過剰配線等による事故防止を図るため、各研究室並びに電気電子系コース関連施設の安全巡視を行った。



工作室使用者講習会



シェルフの転倒防止対策

3 電気電子系コース運営支援

電気電子系コースの事務ならびに行事に関する支援をしている。

①電気電子系コース事務関連

a. 事務職員の不在時の対応を行った。

② 電気電子系コース行事関連

a. 各種入学試験業務支援を行った。

③ 電気電子系コース各種委員会、会議への参加

a. 実験検討委員会

学生実験のテーマ、実験担当者割振、その他実験の運営について検討した。

b. 計算機システム管理運営委員会

学生実験用 PC の保守・管理、サーバーの保守・設定、ネットワーク関連作業等を行った。

c. 安全委員会

安全衛生に関することの検討および安全巡視を行った。

d. 電気主任技術者および電気通信主任技術者関連

学生の資格取得に関わる事務的支援を行った。

e. 電気電子系コース会議

電気電子系コース会議に参加した。

④ 就職活動支援

電気電子系コースの学生の就職活動を支援するため、WEB による求人情報サービスや、就職説明会にも協力した。

4 地域貢献

琉球大学公開講座に講座を提供しており、当班からも第二種電気工事士試験対策講習、子供向け工作教室などに積極的に参加している。また、出前講座として自治体のイベントにも参加している。



低圧電気取扱者特別教育の講師担当



2024 年度写真
差替え予定

琉大カガク院での授業提供

5 工学部運営支援

下記にあげる支援を行った。

- ① 工学部安全衛生委員会への参加（月 1 回）
- ② 就職説明会会場設営
- ③ 工学部安全巡視の実施（月 1 回）

6 工学部外活動

- ① 極低温センターの講習会登録システムのサポート
- ② ドラフトチャンバー点検
- ③ 琉球大学安全衛生委員会並びに産業医巡視への参加（月 1 回、3 号委員の選任業務）
- ④ 琉大ハカセ塾・琉大カガク院での授業「タイトル未定」提供
- ⑤ 「第 8 回実験室等における低圧電気取扱者特別教育」の講師担当
- ⑥ 「危険物施設に関する落雷についての学術的・専門的見地からの講義」の講師担当

建設基盤班

1 業務内容

建設基盤班は、土木建築分野を専門とする班である。主に工学部工学科の社会基盤デザインコースおよび建築学コースにおいて実施される学生実験、測量学実習、演習講義などの教育活動を技術面から支援している。具体的には、実験・実習における器具の取扱い指導、各種試験機や測量機器の操作支援、実験環境の整備などを担当している。

また、各研究室で実施される研究実験に対しても、試験方法の検討補助、試験機の操作支援、データ取得に関する技術的助言などを行い、研究活動の円滑な遂行に寄与している。教育支援にとどまらず、研究の質および効率の向上を支える技術基盤としての役割も担っている点が、本班の大きな特徴である。

その他、工学部入試やオープンキャンパスなどの各種行事への協力や、工学部技術支援室の運営にも携わり、教育・研究・組織運営の各側面から工学部全体を支える活動を行っている。

2 業務実績

(1) 学生実験、実習、演習講義への技術提供

- 学生実験(コンクリート工学実験、地盤工学実験、水工学実験、建築環境工学実験、建築材料構造実験、建築基礎構造)での器具取扱いや作業手順、専門知識に関する指導。
- 社会基盤デザインコースの「測量学実習Ⅰ」、「測量学実習Ⅱ」、建築学コースの「測量学」の受講学生への測量機器取扱い指導と、測量機器の管理。
- 鋼構造(学部)、鋼構造特論(大学院)における、鋼材引張強度試験のための万能試験機操作。
- そのほか、キャリアデザイン、エンジニアリングデザイン、港湾工学、プロジェクトマネジメントなどの講義・演習での運営支援や学生への指導補助。



コンクリート工学実験の様子

(2) 研究室への技術提供

異なる専門知識を有する技術職員が、社会基盤デザインコースおよび建築学コースの教員および学生へ技術支援を行っている。具体的な内容を以下に示す。

- 鋼材防錆防食法に関する研究における分析支援、材料加工、現地調査への同行。
- コンクリートの塩害およびアルカリ骨材反応対策に関する現地調査および分析の支援。
- 材料強度実験のための万能試験機操作支援。薬品の管理および廃液処理の支援。
- 共用機器の取扱い支援(LC-MS、SEM-EDX、顕微ラマン分光装置、イオンクロマトグラ

フィー、デジタルマイクロスコープ、紫外可視分光光度計など)。

- 研究室共同研究における実験および分析等の技術支援。
- 構造実験用加力試験装置の組換え、および大型試験体の設置作業に伴う天井クレーンおよびフォークリフト操作による技術支援。
- 天井クレーンおよびフォークリフトの月次自主点検、年次自主点検の実施。および、性能検査と、それに伴う年次点検のための業者対応と、点検および検査期間中の関係研究室への利用制限の連絡。

(産学官連携棟 大型実験室、工学科実験棟 A 構造実験室)



天井クレーン月次自主点検の様子



フォークリフト月次点検の様子

(3) 地域貢献活動

- ・ 第7回おきなわ建設フェスタへの出展協力。

【社会基盤デザインコース】

- ボタニカルプレート製作体験
- 地盤の常時微動計測体験

【建築学コース】

- 折り紙建築
- ・ 工学部附属地域創生研究センター主催のブリッジインスペクター講習会の運営支援。



おきなわ建設フェスタ「折り紙建築」の様子

(4) その他

建設基盤班では、教育研究支援以外にも、学部共通業務や社会基盤デザインコースおよび建築学コースの共通業務及びコース事務の支援を行っている。

- ① 建築学コース会議および社会基盤デザインコース会議への出席
- ② コース事務員不在の際の事務連絡
- ③ コース予算管理の補助
- ④ 大学入試（大学入学共通テスト及び琉球大学個別試験、推薦入試、3年次編入学試験、大学院入試など）における会場設営や受験生の誘導など

- ⑤ 卒業研究発表会および修士論文発表会（社会基盤デザイン・建築学両コース）会場設営およびタイムキーパー対応
- ⑥ 修士論文中間発表会（社会基盤系・建築系）の会場設営およびタイムキーパー対応
- ⑦ 卒業研究・卒業論文および修士論文の梗概集作成
- ⑧ 講義室の視聴覚機材等のトラブル対応や保守管理
- ⑨ 社会基盤デザインコース JABEE 認定審査に関する会議への出席、資料作成支援
- ⑩ 社会基盤デザインコース及び建築学コースの ML 管理



修論および卒論発表会の様子

3 技術継承のためのスキルアップ講習

建設基盤班では、技術職員の技術継承をはかるため、業務に必要な技能および資格等のスキルアップのための講習会を開催している。

① フォークリフト自主点検講習会

卒業研究や大学院研究などで使用するコンクリートの試験体、鋼製試験体などの移動の際、フォークリフトによる支援作業がある。作業に支障をきたさないよう月 1 回、班の技術職員がローテーションで点検作業を行っている。

② 床上操作式クレーン自主点検講習会

卒業研究や大学院研究などで使用するコンクリート試験体、鋼製試験体などの移動において床上操作式クレーンは欠かせない設備である。2018 年度の業務から、クレーンの月次点検を、班の技術職員がローテーションで実施している。



フォークリフト自主点検講習会

床上操作式クレーン自主点検講習会

情報システム班

業務内容

1 講義実験支援

① 知能情報基礎演習Ⅰ～Ⅳ

知能情報基礎演習Ⅰ～Ⅳは2年次以降を対象にこれから学習していく知能情報工学分野の基礎知識の習得を目的としている。この内、情報システム班では、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲにおける各テーマの講義補助、及びその他実験機材の整備を行なっている。

② エンジニアリングデザイン演習

エンジニアリングデザイン演習では、3年次を対象に知能情報分野のより専門的な知識・技術を習得することを目的とし、担当教員のテーマ毎に1グループ10名程度に分かれ、半年間の長期実験として実施される。この内、情報システム班では、サーバ管理・ネットワーク管理を対象としたサーバ班の支援を行なっている。

③ プログラミングⅠ、Ⅱ、プログラミング演習Ⅰ、Ⅱ

知能情報コース提供科目の1つであり、情報工学に必要なプログラミングの基礎から応用までを幅広く教育する。

Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱでは1年次を対象に、PythonやJava、C言語など、プログラミングの基礎及びレポート作成の基礎を教育する。それらの講義において、学生質問対応や環境整備を行い学生の大学環境への適応を支援するとともに、基礎的な情報技術の習得を支援している。

④ 卒業研究実験支援

卒業研究を行う学生・教員向けの支援を行う。依頼ベースで引き受けて進めるため内容は毎年多岐にわたる。主に、知能情報コースでは提供されにくい実験機材や什器の製作やメンテナンスなどを行っている。また、期間を問わない長期的な継続支援も提供する。

2. 学部・学科・コース

① 安全衛生関係

安全巡視及び指摘事項の改善、その他安全衛生に関することの検討を行う。

② コース備品管理業務

知能情報コースで保有する備品の保守管理を行う。知能情報コースではほぼすべての講義でPCが必須であるため、急な故障でPCが使用できなくなると学習に支障をきたす。そのためコースに貸出専用のPCを用意し、学生へ提供している。また、アプリ開発を行うためのタブレット端末等も同様に貸し出している。

③ システム保守業務（システム管理チーム）

知能情報コースで提供しているサーバ・クラスター環境の構築・運用、障害対応などを行う。メール、Web、認証系を含めた影響が大きいサービスであるため、週次ミーティングを行い、サービス提供に関わる問題点などの検討と対応を、学生とともにやっている。

④ 学部事務支援

入試広報業務、試験対応、主にPC関係の管理、支援を行っている。また、工学部のwebサーバ等も管理している。



- ◉ 来たるべき、「みんな」のコードのために：平成4年生まれがつくるプログラマーの学校
- ◉ 20歳を過ぎてからプログラミングを学ぼうと決めた人たちへ
- ◉ [\(progate\) Python](#) *独習サイト

第2回: Pythonインタプリタとスクリプトの体験1

- ◉ 今週のお告げ:
教務情報システム（シラバス）も含め、連絡網は1日1回チェックしよう。いつまでも「チェックし忘れていた」では通りません。そろそろ
- ◉ [進め方]
 - ◉ 事前に、「第1回」「第2回」の講義スライドPDF、課題レポート1のLevel 1～3まで取り組む。「QA-week1」も参照しつつ、分からないことは
 - ◉ 4/24(金)当日は、質問の多かった項目や重要な点について第1回～第2回を振り返る形で説明。
- ◉ [今日の達成目標]
 - ◉ 必要に応じて、授業資料をPCに保存できる。
*このページやPDFを開いた状態で、「ファイル」メニューから「別名で保存」を選ぶと、PCに保存できます。
 - ◉ 欲しい出力を得るためのレシピ（アルゴリズム、手順）を考えよう。
 - ◉ レシピを記述するための道具（基本的な型・算術演算子・比較演算子・論理演算子）を使えるようになる。
 - ◉ str.format書式を使えるようになる。
 - ◉ インタプリタ実行とファイル実行を使い分けられるようになる。
 - ◉ help()やオンラインドキュメントを使いこなせるようにしよう。
 - ◉ (読みやすい (readable) コードの指標の一つとして命名規則を意識しよう。)
 - ◉ (ペア・プログラミングを通して考えてることを言葉にし、気になったことを言葉にしよう。)
- ◉ [講義スライド] [第2回: Pythonインタプリタとスクリプトの体験1](#)、[ペア・プログラミングの導入](#)
- ◉ 関連リンク
 - ◉ エディタの例: [CotEditor](#) | [Sublime](#) | [ATOM](#)
 - ◉ [Reserved words](#)
 - ◉ [Google Python Style Guide](#)
 - ◉ [Python 3.7 documentation](#)
 - ◉ [str.format](#)
- ◉ 宿題（課題提出ではなく、復習予習の例示）
 - ◉ 教科書2.2節までの復習。
 - ◉ 教科書2.3節、2.4節、4.1.1節の予習。

4. 研 究 活 動

【論文投稿（筆頭・共著）】

1. 西村伊吹, 廣瀬孝三郎, 伊東孝, 松原 仁: 琉球石灰岩の化学的風化に伴う強度低下に関する実験的研究, 材料, *In Press*, 2025.
2. Sora Shimabukuro, Kosaburo Hirose, Ibuki Nishimura, Takashi Ito, and Hitoshi Matsubara: Microbial Weathering and Its Effects on Uniaxial Compressive Strength and Creep of Tuff, The 1st International Workshop on Bio-Rock Mechanics, pp. 122-128, 2025.
3. 清水寛太, 山田義智, 東舟道裕亮, 森田浩史: ビンガム流体標準物質によるセメントペーストのレオロジー試験の校正と MPS 解析による妥当性検証, コンクリート工学年次論文集, Vol.47, No.1, pp.1326-1331, 2025
4. 豊田颯太, 崎原康平, 笠原巧, 高田聡: 数値解析による雨掛かりを考慮した鉄筋コンクリート構造物の付着塩分予測に関する研究, セメント・コンクリート論文集, Vol.78, No.1, pp.254-262, 2025

【謝辞記載論文】

1. Ibuki Nishimura, Tomonori Yamada, Hitoshi Matsubara: Simulation study on impact of MICP treatment against degradation of geotextiles, Proceedings of the International Conference on Bio-mediated and Bio-inspired Geotechnics, 1-11, 2025. (廣瀬孝三郎)

【学会および技術研究会での発表】

1. 大城諒土, 仲宗根宏貴, 渡慶次高也, 山下大輔, 勢理客勝則: 電気取扱作業特別教育（低圧）インストラクターコースの受講をとおして, 2025 年 3 月 17 日, 九州地区総合技術研究会 2026 in 琉球大学
2. 下地申明, 大城諒土: 危険物施設に関する落雷についての学術的・専門的見地からの講義, 2025 年 11 月 5 日, 沖縄県危険物安全協会 東部支部
3. 島袋天, 廣瀬孝三郎, 西村伊吹, 松原仁: 凝灰岩の微生物風化と一軸圧縮応力の関連性評価, 令和 6 年度西部支部研究発表会, III-64, pp.399-400, 2025.
4. 桃崎卓実, 廣瀬孝三郎, 西村伊吹, 松原仁: 好気性微生物の PFAS 分解能に関する実験研究, 令和 6 年度西部支部研究発表会, III-79, pp.429-430, 2025.
5. 清水寛太, 平野修也, 山田義智, 東舟道裕亮, 森田浩史, 高淵稔貴, 秋山五郎: ビンガム流体標準物質を用いたセメントペーストのレオロジー試験の校正および MPS 解析による妥当性検証（その 1 実験概要及び校正後のレオロジー定数に関する考察）, 日本建築学会九州支部学術講演梗概集, pp.149-150, 2025
6. 平野修也, 清水寛太, 山田義智, 東舟道裕亮, 森田浩史, 高淵稔貴, 秋山五郎: ビンガム流体標準物質を用いたセメントペーストのレオロジー試験の校正および MPS 解析による妥当性検証（その 2 MPS 解析によるペーストのフロー試験の再現性検証）, 日本建築学会九州支部学術講演梗概集, pp.151-152, 2025
7. 波平康太, 山田義智, 東舟道裕亮, 崎原康平, 平野修也, 清水寛太: モルタルの流動性と骨材情報を用いた機械学習による高流動コンクリートの流動性予測, 日本建築学会九州支部学術講演梗概集, pp.155-156, 2025

8. 豊田颯太, 崎原康平: 南大東島における飛来塩分の分布特性および予測手法の検討, 本建築学会九州支部学術講演梗概集, pp.61-64, 2025
9. Saiki OSHIRO, Sota TOYODA, Kohei SAKIHARA, Fuminori NAKAMURA: Proceedings of 18th International Symposium on Performance Improvement of Concrete for Long life span Structure, 2026
10. 豊田颯太, 崎原康平, 中村文則; デジタルツインを用いた沿岸地域における建築物の付着塩分予測, 日本建築学会大会(九州)学術講演梗概集, 2025年, A-1分冊, pp.255-256
11. 山本智大, 下里哲弘, 淵脇秀晃; 錆びたボルト試験体に対する各種防食メカニズムの耐食性能評価, 土木学会西部支部沖縄会, 第15回技術研究発表会, pp.99-100, 2026.1.
12. 真田大輝, 下里哲弘, 淵脇秀晃; 電気化学的実験によるCS工法の防食性能評価に関する研究, 土木学会西部支部沖縄会, 第15回技術研究発表会, pp.99-100, 2026.1.
13. 大山詩織, 下里哲弘, 淵脇秀晃; ステンレス鋼における孔食さびの発生と環境要因の評価, 土木学会西部支部沖縄会, 第15回技術研究発表会, pp.99-100, 2026.1.

5. 地 域 貢 献 活 動

琉球大学総合技術部主催「琉大 iTec フェスタ」への講座提供

2025 年 10 月 25 日（土）に総合技術部主催の「琉大 iTec フェスタ」にて、「ホバークラフト」、「まわりつづけるコマ」、「折り紙建築」、「電気工事体験」、「ミラクル万華鏡」の 5 講座を提供した。

担当者

ホバークラフト：○大城諒士、玉那覇結咲、名嘉海人、小林夏樹

まわりつづけるコマ：○山下大輔、名嘉秀和、石川雄大

折り紙建築：○豊田颯太、東舟道裕亮、

電気工事体験：○渡慶次高也、勢理客勝則

ミラクル万華鏡：○仲宗根宏貴、佐久本華乃

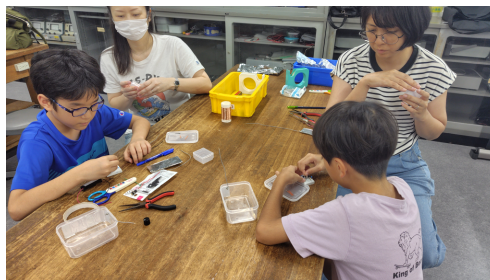
○印は司会進行役

琉球大学公開講座「夏休み工作教室」の実施

2025 年度の公開講座「夏休み工作教室」が、7 月 26 日（土）と 8 月 2 日（土）に 8 講座を開催した。7 月 27 日には、「ホバークラフト」、「AM ラジオの作成」、「折り紙建築」、「合金を溶かして風鈴づくり」の 4 講座。7 月 3 日には、「電気工事を体験しよう（小学生対象コース）」、「電気工事を体験しよう（中学生対象コース）」、「デスクトップ PC」「ミラクル万華鏡」の 4 講座が開催され、たくさん小学生と中学生の受講生たちが参加した。



ホバークラフト



AM ラジオの制作



折り紙建築



合金を溶かして風鈴づくり



小学生対象コース

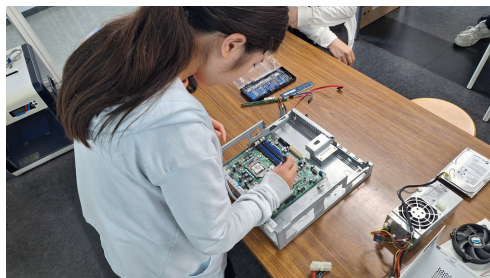


中学生対象コース

電気工事を体験しよう



ミラクル万華鏡



デスクトップ PC

担当者

「ホバークラフト」：大城(諒)、山下、玉那覇(厚)、渡慶次、玉那覇(結)

「AM ラジオの製作」：山下、仲宗根、大城(諒)

「折り紙建築」：淵脇、廣瀬、東舟道、花城、豊田、屋比久

「合金を溶かして風鈴づくり」：山里、與那覇、照屋、安江、石川、大城(健)

「ミラクル万華鏡」：仲宗根、山下、廣瀬

「電気工事を体験しよう(小学生対象コース)」：渡慶次、大城(諒)、玉那覇(厚)、玉那覇(結)

「デスクトップ PC」：翁長、名嘉(秀)、小林

「電気工事を体験しよう(中学生対象コース)」：渡慶次、仲宗根、玉那覇(厚)

2025 年度琉球大学公開講座「第二種電気工事士試験対策講習（技能）」実施報告

第二種電気工事士は、一般住宅、小規模な店舗などの電気設備に対して電気工事の作業に従事するために必要な資格である。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要する。本講座では（財）電気技術者試験センターから公表された候補問題 13 問題を実際に作り、合格するために必要な基礎的技術を学ぶことができる。2025 年度の受講者は 45 名であった。

<公開講座の日程>

上期：6 月 7 日（土）～ 7 月 12 日（土）、全 8 回、受講者 21 名

下期：11 月 8 日（土）～ 12 月 13 日（土）、全 8 回、受講者 24 名

担当者：勢理客勝則、山下大輔、渡慶次高也、大城諒士、仲宗根宏貴

2025 年度琉球大学公開講座「第一種電気工事士試験対策講習（技能）」実施報告

第一種電気工事士は、「自家用電気工作物のうち最大電力 500 キロワット未満の需要設備の電気工事」「一般用電気工作物等の電気工事」の作業に従事するために必要な資格である。この資格は国家資格であり、合格するためには電気の基礎的知識および技術を要する。本講座では（財）電気技術者試験センターから公表された候補問題 10 問題を実際に作り、合格するために必要な基礎的技術を学ぶことができる。2025 年度の受講者は 6 名であり、それぞれが技能試験の合格に向けて候補問題に取り組んだ。

<公開講座の日程>

上期：6 月 7 日（土）～ 6 月 28 日（土）、全 8 回、受講者 2 名

下期：10 月 25 日（土）～ 11 月 15 日（土）、全 8 回、受講者 4 名

担当者：渡慶次高也、大城諒士

琉球大学総合技術部夏休み科学体験教室 in 渡嘉敷村

2025 年 8 月 5 日(火)に渡嘉敷村公民館で開催された「琉球大学総合技術部夏休み科学体験教室 in 渡嘉敷村」において、「ミラクル万華鏡」を実施した。参加者は渡嘉敷小学校および阿波連小学校の児童 17 名であった。

担当者

仲宗根宏貴（電気電子班），山下大輔（電気電子班），渡慶次高也（電気電子班），
町田貴和子（総合技術部食とヘルスケアグループ），町田夏紀（総合技術部情報グループ），新垣美香（総合技術部フィールド技術グループ）



ミラクル万華鏡

宜野湾市大謝名児童センター出前講座

2025 年 8 月 8 日(金)に宜野湾市大謝名児童センターにて「科学アトラクション」を実施した。児童センターを利用する約 40 名の児童が参加した。

担当者

渡慶次高也（電気電子班），玉那覇結咲（電気電子班），大城健太（設計製作班）



大謝名児童センター「科学アトラクション」

東区キッズ夏休み講座 親子で首里城づくり 折り紙建築

2025 年 8 月 9 日(土)に嘉手納町東区公民館にて開催された出前講座により「東区キッズ夏休み講座 親子で首里城づくり 折り紙建築」を実施した。参加者は小学校 4 年生から 6 年生の親子 8 組であった。

担当者

淵脇秀晃（建設基盤班），花城有人（建設基盤班），東舟道裕亮（建設基盤班），石川雄大（設計製作班），高津里佳（総合技術部フィールド技術グループ）



東区キッズ夏休み講座「折り紙建築」

放課後等デイサービス NEXT STEP 出前講座

2025 年 8 月 14 日(木)に与那原町にある放課後等デイサービス NEXT STEP にて出前講座「ホバークラフト」を実施した。10 名の児童の参加があった。

担当者

大城諒士（電気電子班），仲宗根宏貴（電気電子班），大城健太（設計製作班），渡慶次高也（電気電子班），石川雄大（設計製作班），泉水仁（総合技術部機器分析グループ），進藤愛（総合技術部生物・生体技術グループ）



ホバークラフト

中城村ひだまり学童 CLUB「親子で楽しむものづくり工作教室」

2025 年 8 月 23 日(土)に中城村吉の浦会館にて「LED ランタンづくり」「ミラクル万華鏡」を実施した。LED ランタンには 9 名、ミラクル万華鏡には 11 名の参加があった。

担当者

渡慶次高也（電気電子班）、大城諒士（電気電子班）、佐久本華乃（設計製作班）、仲宗根宏貴（電気電子班）、玉那覇厚雄（電気電子班）



「LED ランタンづくり」と「ミラクル万華鏡」

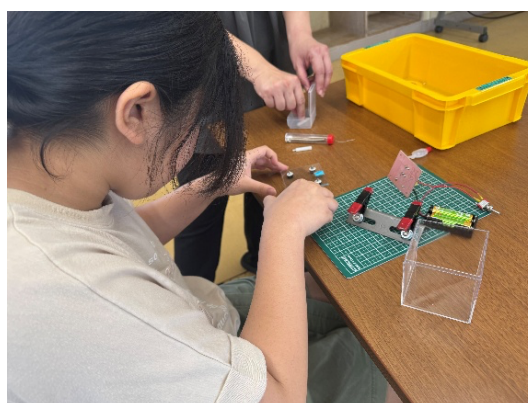
出前講座「LED ランタンづくり」

2025 年 8 月 25 日(月)に北谷町北玉区公民館にて「LED ランタンづくり」を実施した。児童 10 名の参加があった。

担当者

渡慶次高也（電気電子班）、大城諒士（電気電子班）、玉那覇結咲（電気電子班）、石川雄大（設計製作班）

進藤愛（総合技術部生物・生体技術グループ）



北谷町北玉区公民館「LED ランタンづくり」

琉附小祭出前講座

2025 年 8 月 30 日(土)に琉球大学教育学部附属小学校にて出前講座「折り紙建築」「ホバークラフト」「金属コマをつくろう」「ヤギ先生の島やさい教室」を実施した。折り紙建築には親子 18 組、折り紙建築に親子 16 組、金属コマをつくろうに親子 38 組、ヤギ先生の島やさい教室には親子 8 組の参加があった。

担当者

渡慶次高也（電気電子班）、大城諒士（電気電子班）、小林夏樹（情報班）、淵脇秀晃（建設基盤班）、山里将史（設計製作班）、與那覇敏明（設計製作班）、安江洋人（設計製作班）、佐久本華乃（設計製作班）、大城健太（設計製作班）、

上地飛夢（総合技術部研究室運営支援グループ）、仲村大（総合技術部機器分析グループ）、多良美輝（総合技術部生物・生体技術グループ）、大江萌那（総合技術部食とヘルスケアグループ）、町田貴和子（総合技術部食とヘルスケアグループ）、田邊恭佳（総合技術部生物・生体グループ）、町田夏紀（総合技術部情報グループ）、大城郁子（総合技術部生物・生体技術グループ）、高津里佳（総合技術部フィールド技術グループ）、新垣美香（総合技術部フィールド技術グループ）、屋良朝宣（総合技術部フィールド技術グループ）、鈴木詩織（総合技術部フィールド技術グループ）、伊敷七美（総合技術部フィールド技術グループ）



「琉附小祭」

第2回生涯学習フェスティバル はいさい！いちゃりば祭

2025年11月2日(日)に嘉手納町教育委員会主催「第2回生涯学習フェスティバル はいさい！いちゃりば祭」にて出前講座「ミラクル万華鏡」「電気工事を体験しよう」「ヤギふれあい体験」を実施した。ミラクル万華鏡には19名、電気工事を体験しようには19名の児童の参加があった。

担当者

仲宗根宏貴（電気電子班）、玉那覇結咲（電気電子班）、玉那覇厚雄（電気電子班）、渡慶次高也（電気電子班）、石川雄大（設計製作班）、豊田颯太（建設基盤班）、屋良朝宣（総合技術部フィールド技術グループ）、伊敷七美（総合技術部フィールド技術グループ）、進藤愛（総合技術部生物・生体技術グループ）



はいさい！いちゃりば祭

とよみ小学校出前講座

2025 年 12 月 7 日(日)に豊見城市立とよみ小学校にて出前講座「電気工事を体験しよう」「液体ちっ素で遊ぼう!」「牛とヤギとおさんぽ Walk」を実施した。

電気工事を体験しようにはとよみ小学校 4 年生 8 名の参加があった。

担当者

渡慶次高也（電気電子班）、與那覇敏明（設計製作班）、屋良朝宣（総合技術部フィールド技術グループ）、上原春香（総合技術部生物・生体技術グループ）、宗本久弥（総合技術部機器分析グループ）、仲村大（総合技術部機器分析グループ）、村田正将（総合技術部フィールド技術グループ）、町田貴和子（総合技術部食とヘルスケアグループ）、垣花彩絵（総合技術部生物・生体技術グループ）、多良美輝（総合技術部生物・生体技術グループ）、鈴木詩織（総合技術部フィールド技術グループ）、高津里佳（総合技術部フィールド技術グループ）



とよみ小学校出前講座

うるま市第 21 回生涯学習フェスティバル

2026 年 2 月 7 日(土)にうるま市生涯学習文化振興センターゆらてくにて開催された「第 21 回生涯学習フェスティバル」にて「電気工事を体験しよう」「ヤギ先生の島やさい教室」を実施した。

電気工事を体験しようには親子 8 組、ヤギ先生の島やさい教室は親子 9 組の参加があった。

担当者

渡慶次高也（電気電子班）、町田貴和子（総合技術部食とヘルスケアグループ）、當山奏子（総合技術部生物・生体技術グループ）、新垣美香（総合技術部フィールド技術グループ）、屋良朝宣（総合技術部フィールド技術グループ）、町田夏紀（総合技術部情報グループ）、山里夏海（総合技術部食とヘルスケアグループ）、高津里佳（総合技術部フィールド技術グループ）



うるま市第 21 回生涯学習フェスティバル

親子で学ぶ、わくわく科学講座！

2026 年 2 月 14 日(土)に糸満市観光農園にて「親子で学ぶ、わくわく科学講座！」が開催され、「ホバークラフトをつくろう！」「ドキドキ電気工事！LED を光らせる回路づくり」「イチゴで学ぶ！サイエンスクッキング」を実施した。

ホバークラフトには親子 9 組、ドキドキ電気工事には親子 7 組、サイエンスクッキングには親子 10 組の参加があった。

担当者

大城諒士（電気電子班）東舟道裕亮（建設基盤班），渡慶次高也（電気電子班），山里將史（設計製作班），山下大輔（電気電子班），佐久本華乃（設計製作班），新垣美香（総合技術部フィールド技術グループ），泉水仁（総合技術部機器分析グループ），大城郁子（総合技術部生物・生体技術グループ），町田貴和子（総合技術部食とヘルスケアグループ），當山奏子（総合技術部生物・生体技術グループ），大江萌那（総合技術部食とヘルスケアグループ），進藤愛（総合技術部生物・生体技術グループ），屋良朝宣（総合技術部フィールド技術グループ），村田正将（総合技術部フィールド技術グループ），大城彩（総合技術部生物・生体技術グループ），茅野太紀（総合技術部フィールド技術グループ）



糸満市観光農園「親子で学ぶ、わくわく科学講座！」

公民館まつり「子ども会工作教室」ミラクル万華鏡をつくろう！

2026 年 2 月 28 日(土)に八重瀬町中央公民館にて、「ミラクル万華鏡をつくろう！」を実施した。

担当者

山下大輔（電気電子班），佐久本華乃（設計製作班），
山里夏海（総合技術部食とヘルスケアグループ），上原春香（総合技術部生物・生体技術グループ），
當山奏子（総合技術部生物・生体技術グループ），進藤愛（総合技術部生物・生体技術グループ），
田邊恭佳（総合技術部生物・生体グループ）

6. 外部資金および課金

【外部資金および課金】

業務名：学部学生への旋盤加工実習

担当者：安江

内 容：旋盤加工実習の事前準備と技術サポート(教育学部)。

業務名：シリンダー制作

担当者：安江、佐久本、石川、大城

内 容：円柱(SUS304)の切削加工(理学部)。

業務名：寄付者芳名札製作

担当者：山里

内 容：高額寄付者名を彫刻した芳名札を製作した。

業務名：真空配管の製作

担当者：照屋、宮城、石川

内 容：ステンレス管の穴あけ加工、ステンレス管とフランジの溶接作業

業務名：プラスチック容器のカット

担当者：與那覇、石川

内 容：プラスチック容器 30 個を、6 度の角度をつけて切断した。

業務名：マイクロプラスチック採取用プランクトンネットの金属枠製作

担当者：照屋

内 容：マイクロプラスチック採取用プランクトンネットの金属枠（ステンレス製）を溶接により製作した。

7. 研 修

・技術報告会

回	所属	発表者	発表タイトル
16	設計製作	與那覇敏明	業務紹介と実験装置製作の1例
17	電気電子	玉那覇結咲	”自己紹介”みたいなものなのだ
18	建設基盤	東舟道祐亮	業務紹介と機械学習について
19	情報	名嘉秀和	Schoo研修
20	設計製作	照屋泰彦	技術継承について
22	設計製作	大城健太	業務紹介
23	電気電子	大城諒士	自己紹介と雷サージ対策講習（学外）の一部紹介
24	建設基盤	豊田颯太	業務紹介とOpenFOAMを用いた数値シミュレーションについて
26	電気電子	渡慶次高也	他大学交流会（九州大学）参加報告
26	設計製作	山里將史	JAXAでの業務紹介と琉大でのこれから
27	電気電子	勢理客勝則	

・工学部外研修

所 属	設計製作班 電気電子システム班 建設基盤班	氏 名	石川 雄大 大城 健太 玉那覇 結咲 花城 有人
研修先	琉球大学本部棟 2 階 第一研修室		
期 間	2025 年 4 月 9 日（水）～4 月 11 日（金）		
目 的	琉球大学新採用一般職員研修		
【報告内容】（研修内容） 琉球大学の歴史・背景、大学職員としての心構えについて 職務遂行に必要な基礎知識，技能及び態度の養成 セクハラやパワハラなどのハラスメント研修など			

所 属	設計製作班	氏 名	大城 健太
研修先	沖縄県労働基準協会 中城講習会場		
期 間	2025 年 7 月 5 日		
目 的	自由研削といしの取替等業務特別教育		
【報告内容】（研修内容） 自由研削砥石に関する知識、試運転方法、関係法令についての学科を行い、研削砥石の取り付け及び試運転の実技を行った。			

所 属	設計製作班	氏 名	石川 雄大 大城 健太
研修先	学科：沖縄県労働基準協会 中城講習会場 実技：美里工業高校 機械科溶接実習室		
期 間	2025 年 11 月 6 日～11 月 8 日		
目 的	ガス溶接業務特別教育		
【報告内容】（研修内容） 1 日目，2 日目に座学によるガス溶接に関する知識・関係法令についての学科・修了試験を行った。 3 日目は実技講習による設備の取り扱いについて受講した。			

所 属	電気電子班	氏 名	大城 諒士
-----	-------	-----	-------

研修先	琉球大学本館 4 階 第一会議室
期 間	2025 年 11 月 19 日
目 的	令和 7 年度 琉球大学係長研修受講のため
【報告内容】（研修内容） 目標達成に向けた施策の企画・実行力を高め、上司・部下との調整力を強化し、さらに、部下への適切な指導と知識・技能の継承を通じて、次世代を育てる管理職としての資質を磨くための研修を受講し、修了した。	

所 属	設計製作班	氏 名	石川雄大
研修先	沖縄県労働基準協会		
期 間	2025 年 12 月 4 日～12 月 7 日		
目 的	アーク溶接特別教育の受講		
【報告内容】（研修内容） 12 月 4 日・5 日はアーク溶接に関する講義が行われ、アーク溶接作業の基礎知識について学んだ。 6 日・7 日は実技講習が実施され、基本的なアーク溶接作業を実際に体験した。			

所 属	電気電子班	氏 名	玉那覇 結咲
研修先	工学部 2 号館		
期 間	2025 年 12 月 25 日		

目 的	実験室等における電気事故(感電・漏電・火災)等を未然に防ぐため
【報告内容】(研修内容) 実験室等(事務室等も含む)に置いて、全ての電氣的な実験装置・器具等の操作及び管理している教職員に置いて、電気事故を未然に防ぐための知識ならびに実践的な取り扱い方法を学ぶ	

所 属	電気電子班	氏 名	大城 諒士、仲宗根 宏貴
研修先	琉球大学 極低温センター および e-learning		
期 間	2026 年 1 月 19 日		
目 的	テールゲートリフター技能実習受講のため		
【報告内容】（研修内容） テールゲートリフターを使用するにあたり必須である技能実習をうけた。また、e-learning による特別教育も受講し、テールゲートリフターの特別教育を修了した。			

所 属	設計製作班	氏 名	照屋 泰彦
研修先	工学部		
期 間	2026 年 2 月 6 日		
目 的	コンクリフトマネジメントを習得することで大学運営における DEIB 促進に役立つスキルを提供する		
【報告内容】（研修内容） DE&I の基本を確認し、職場で推進していくために必要な知識やスキルを習得する。			

8. 保有資格一覽

資格等一覧表

技術系ライセンス	人数	インストラクターライセンス	人数
第1種衛生管理者	19	局所排気装置等定期自主検査者インスト	1
第2種電気主任技術者	1	携帯用丸のこ盤作業従事者安全教育インスト	1
第3種電気主任技術者	2	電気取扱作業特別教育インスト(低圧)	3
第2種電気工事士	11	砥削砥石の取換え等業務特別教育インスト	1
認定電気工事従事者	9	衛生工学衛生管理者	2
工事担当者(DD3種)	1	※インストはインストラクターの略	
基本情報技術者	1	技能講習	人数
ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 10g	1	玉掛け技能講習	15
ORACLE MASTER Silver Oracle Database 10g	1	フォークリフト運転技能講習	6
CCNA 200-301試験	1	床上操作式クレーン運転技能講習	13
危険物取扱者免状 乙1類	1	ガス溶接取扱い技能講習	11
危険物取扱者免状 乙2類	1	化学物質管理者	1
危険物取扱者免状 乙3類	1	有機溶剤作業主任者技能講習	5
危険物取扱者免状 乙4類	2	小型移動式クレーン運転技能講習	3
危険物取扱者免状 乙5類	1	木材加工用機械作業主任者技能講習	6
危険物取扱者免状 乙6類	1	特定化学物質・四アルキル等作業主任者技能講習	2
2級建築士	2	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1
2級土木技術者	1	特別講習	人数
測量士補	1	アーク溶接作業従事者特別教育講習	13
1級小型船舶	1	低圧電気取扱者特別教育講習	19
2級小型船舶	1	高圧・特別高電圧電気取扱業務講習	5
小型船舶操縦免許	1	自由砥削といし取替・試運転業務特別講習	21
1級機械保全技能士	1	局所排気装置等定期自主検査者育成講習	5
作業環境測定士	3	粉じん作業従事者特別教育修了	11
ガス溶接作業主任者	1	テールゲートリフター特別教育	5
コンクリート技士	1	普通救命講習	15
潜水士	1	刈払機取扱作業者特別教育	3
		巻き上げ機(ウインチ)運転特別教育	3
学位	人数	天井クレーン定期自主検査者安全教育	1
博士(工学)	4	携帯用丸のこ盤作業従事者安全教育	12
		フルハーネス型墜落制止用器具作業特別教育	3

編集後記

2025年度「琉球大学工学部技術部活動報告書」が完成いたしました。

本報告書は、各班の取り組みをはじめ、各種委員会、専門部会等の技術支援室の一年間の活動を紹介しております。

2025年度においても、「設計制作班」「建設基盤班」「電気電子班」「情報班」の4班体制のもと、各班がそれぞれの専門技術を活かしながら、工学部の教育・研究支援業務に尽力しています。全学からの多様な業務依頼についても、班の垣根を超えた協力体制で対応する機会が増えており、班員同士での技術・知識の共有が活発化することで組織全体としての技術力向上にも寄与しているものと感じております。

また、従来は工学部技術部が単独で実施していた出前講座や公開講座などの地域貢献活動についても、全学的な協力体制が構築されたことで提供できる講座の幅が広がり、より多くのニーズに応えられるようになっていきます。

今後は、学外機関との連携や全学を対象とした教育、研究支援などあらゆる方面で活躍する機会が増えることが見込まれております。

最後に、本報告書の発刊にあたり、編集委員および執筆者の皆様をはじめ、関係者の皆様から賜りました多大なるご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

2025年度技術部活動報告書編集WG

名嘉 秀和 (WG長・情報班)

渡慶次 高也 (電気電子班)

佐久本 華乃 (設計製作班)

廣瀬 孝三郎 (建設基盤班)

2025年度

技術部活動報告書

第 18 号

2026 年 3 月 12 日 発行

編集・発行 琉球大学工学部技術支援室

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

TEL 098-895-8612 FAX 098-895-8612

URL <https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/engineering-division/>
